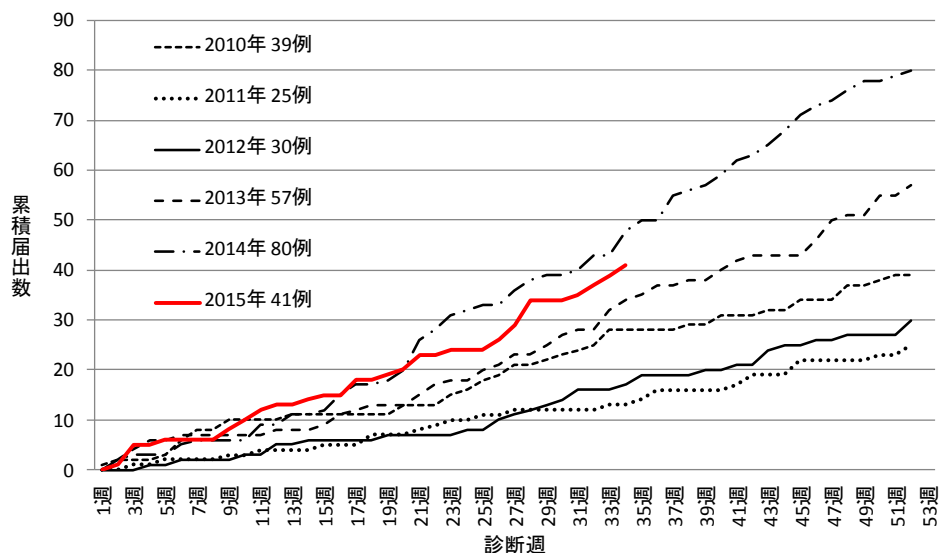


梅毒

千葉県における2015年1～34週の梅毒の届出数は41例となった。図に2010年～2015年34週の千葉県の梅毒累積届出数を示す。過去5年間と比較すると、2014年に次いで届出数が多くなっている。

図 2010年～2015年34週の千葉県の梅毒累積届出数 272例



2015年1～34週に届出のあった41例の届出状況は次のとおりだった。

保健所別では、千葉市8例、柏市5例、市川4例、習志野4例、松戸3例、印旛3例、海匝3例、君津3例、船橋市2例、市原2例、安房2例、野田1例、山武1例だった。

類型別では、患者23例、無症状病原体保有者18例だった(表)。

表 2015年1～34週千葉県の梅毒類型別・性別届出数

類型	男性	女性	合計
患者	15	8	23
無症状病原体保有者	11	7	18
合計	26	15	41

性別は男性26例(63.4%)、女性15例(36.6%)だった(表)。

年齢群別では、10歳未満1例(2.4%)、10代4例(9.8%)、20代11例(26.8%)、30代6例(14.6%)、40代8例(19.5%)、50代7例(17.1%)、60代3例(7.3%)、70代1例(2.4%)だった(表2)。

表2 2015年1～34週千葉県の梅毒年齢群別・病型別届出数

年齢群	先天梅毒	早期顕症	早期顕症	晩期顕症 梅毒	無症候(無 症状病原 体保有者)	合計
		梅毒(I期)	梅毒(Ⅰ、Ⅱ 期)			
10歳未満	1	0	0	0	0	1
10代	0	0	2	0	2	4
20代	0	4	4	0	3	11
30代	0	1	2	0	3	6
40代	0	1	2	1	4	8
50代	0	1	3	0	3	7
60代	0	0	0	1	2	3
70代	0	0	0	0	1	1
合計	1	7	13	2	18	41

病型別では、無症状病原体保有者18例(43.9%)、先天梅毒1例(2.4%)、早期顕症梅毒(I期)7例(17.1%)、早期顕症梅毒(Ⅱ期)13例(31.7%)、晩期顕症梅毒2例(4.9%)だった(表2)。

感染原因・感染経路として推定または確定されたのは、性的接触(性交)27例(65.9%)、性的接触(経口)4例(9.8%)、性的接触(同性間)8例(19.5%)、性的接触(異性間)23例(56.1%)、性的接触(不明)4例(9.8%)、母子感染1例(2.4%)、その他5例(12.2%)であった(複数報告あり)。